



# ほんべつ 議会だより

No.93

令和2年5月1日発行



## 友だちといっしょは楽しいよ

4月3日 本別学童保育所

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123  
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会



## 第1回

# 定 例 会

## 子どもの医療費助成の所得制限廃止 などの条例改正等を可決

令和2年第1回定例会は3月3日に開会し、乳幼児等医療費助成に関する条例の一部改正や各会計補正予算などを審議しました。

審議された内容は次のとおりです。

### 条例改正

#### 業放課後児童健全育成事 務の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

乳幼児等の医療費助成は、18歳に達した日以後の年度末まで対象範囲を拡大し、所得制限を設けて助成してきました。

今回の改正で、所得制限を廃止し、対象範囲を拡大することにより、子育て世代の更なる支援を図ります。

新たに82人が対象となるが、初診料も含めて全額無料となるのが、

**答**

**問**

全額助成対象となります。

**答**

**問**

学童保育所の有資格者の現状は。

3地区で8人の支援員の有資格者がおり、充分要件を満たしています。



支援員の配置基準が改正された学童保育所

**答**

農林課職員全員が捕獲員の申請をしており、獣友会から推薦された捕獲員の方々が出動できないときには、タヌキ、キツネ、アライグマ、カラスなどの駆除を職員が行っています。

近年、有害鳥獣駆除の件数が増加していること、また、殺処分時に一定程度の危険を伴うことから、有害鳥獣の駆除作業に従事する職員について、支援員の業務1日に「殺処分」の業務1日につき500円の手当を支給します。

職員の従事の実態は。

**問**

**問**

本件に、反対者の討論…梅村議員  
この職務内容に対し日当が極めて低額で、職員の従事実態による評価体制の構築が必要である。  
賛成者の討論…大住議員  
有害鳥獣が住宅地まで侵入しており、町民生活に密着した観点から賛成する。  
採決の結果  
賛成者10人、反対者1人で原案可決されました。

## 一般会計補正

### 駒踊り保存会



残したい伝統文化 駒踊り

答

活動が見られず、会の理解を得て全額返納いたしました。今まで学校訪問や学童保育所で勧誘活動を共に行つきましたが、今後も活動の支援をしていきます。

問

補助金12万8,000円の減額理由と伝統文化が失われることはないか。

## 勇足定住促進団地

### 勇足定住促進団地

今年度1区画売却し（約170坪／1坪7千円）、12区画中4区画が残っています。

答



家庭菜園も楽しめます

## 第1回 臨時会

開催日1月31日

### 一般会計補正

意向が反映されているのか。

問

指定寄付に伴う書購入は、寄付者の

### 答

寄付者の意向に沿った形で、今回は、視聴覚資料、大型絵本、大字本、参考図書などを図書館で購入しています。



町民が楽しみにする「岡崎文庫」

### 令和元年度各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一 般 会 計	(1,740万円) 75億2,512万1千円	寄付金の増 (臨時会) 事業費確定及び決算見込みによる減 (定例会)
特 別 会 計	国民健康保険 (△137万2千円) 11億8,819万3千円	事業費確定による減 (定例会)
	後期高齢者医療 (665万2千円) 1億3,828万5千円	医療保険料収入の増 (定例会)
	介護保険事業 (334万3千円) 10億2,197万9千円	事業執行見込みによる増 (定例会)
	介護サービス事業 (149万9千円) 2億9,954万5千円	人事異動等による人件費の増 (定例会)
	簡易水道 (△86万3千円) 1億2,510万1千円	事業費確定及び決算見込みによる減 (定例会)
	公共下水道 (△4,398万5千円) 4億6,750万8千円	事業費確定及び決算見込みによる減 (定例会)
水道事業会計	(△1,207万7千円) 2億6,070万7千円	事業費確定による減 (定例会)
病院事業会計	(△239万円) 13億6,707万2千円	寄付金の増 (臨時会) 事業費確定による減 (定例会)

※第1回臨時会含む（1月31日開催）

令和2年度

3月16日・17日・18日開催

審議時間11時間57分

# 予算審査 特別委員会

一般会計予算額

歳出（支出）総額 68億7,380万4千円



篠原義彦委員長

9会計総予算額

歳出（支出）総額 117億240万5千円



待ってます ミッキエルのみなさん

え方は。

問

## 人口減少対策

人口減少に対し、  
地方創生予算を効果  
的に執行していく上での考

とと考えています。

答

## 標準財政規模の15%

から20%を確保し  
て、6億円から8億円の間  
で残高を維持していきたい

通しは。

問

来年度、また、5年後の基金残高の見

## 財政調整基金

答

9月頃にオーストラリアミッキエルから15人が本町を訪問するということで、受け入れ経費等を補助するものです。

は。

問

国際交流協会補助金  
国際交流協会への  
補助金90万円の内容

## 一般会計

直近の実績、結果  
が出た後の対応は。

問

職員ストレスチェック

答

昨年10月に管理職を含めた全職員37人  
と判断された職員は70人  
(18.7%)です。高ストレスと判断された場合、希望する職員はこころのほつと  
相談を利用し、カウンセラーの方に相談を行っています。

人口減対策に努めています。

人口減少は自然減  
乳幼児医療費助成の拡大等  
子育ての部分を始め、本別  
らしさを出しながら移住定  
住していただけるよう、人が一番大きいと考え  
ています。保育料の軽減や  
人口減対策に努めています。人口減少は自然減  
乳幼児医療費助成の拡大等  
子育ての部分を始め、本別  
らしさを出しながら移住定  
住していただけるよう、人が一番大きいと考え  
ています。保育料の軽減や  
人口減対策に努めています。

## ここるのまつと相談

一人で抱えている悩みについて心理カウンセラーが話を伺い、一緒に振り返り、気持ちを整理する手伝いをします。対象は町民の方となっており、家庭や職場のことなど様々な相談を受け付けています。開催日程は町広報に記載されており、利用の際には、健康管理センターへの事前予約が必要です。

## 地域おこし協力隊

新規採用を予定している隊員の業務内容は。



健康スポーツ推進員の吉田哲登さん

は。  
問 インターネット公売  
答 今年度の見込みと  
活用に向けての姿勢

問 答  
スの関係で本町でも  
対策本部を立ち上げている  
が、どのように措置を求める  
ていくのか。

答 スポーツを通じて健康増進を図るために活動を行っていたら隊員1人。農作業技術や知識を習得し、担い手確保に向けた情報発信や農業振興に係る活動を行っています。隊員2人。さらに、移住定住の業務を行っている隊員が6月で任期満了となるため、7月から新しい隊員の募集を予定しています。

問 制度が開始されることによって人数はどう変わるのが。

## 会計年度任用職員

件数的なものはありませんが、積極的に活用していきます。



5月から導入されるタブレット端末

問 本別公園使用料  
答 増額が見込まれて  
いるが新たな取り組み等を行うのが。

問 本別公園遊具整理  
答 本別公園にあるアスレチック遊具の一部更新を予定しています。年内の完了を目指します。

答 前年度と比較して22人減の213人を予定しています。災害時等、人員が不足した場合には、臨時の任用職員を活用しながら対応していきます。

問 本別ゆうゆうカード  
答 先端機器導入事業の内容は。



更新されるアスレチック遊具

答 本別公園内のゴトについて、昨年は夏季期間以外土・日・月曜日の運営でした。が、今年度は金・土・日曜日に変更することから見込まれる使用料の増額分です。

6月の定例会は  
2日開会、9日一般質問を  
予定しています

## きらめきタウンフェスティバル



開会式で見事な演奏を披露（本別ジュニアプラスアンサンブル）

**答**  
現時点では検討段階で、  
新年度に実行委員会へ諮り  
最終決定となります。

**問**  
新たな対象者は決  
まりっているのか。

### 新規就農予定者支援事業



**答**  
現在2基ある和式  
トイレを、水洗では  
ありませんが洋式トイレ  
基に変更します。

## 火葬場修繕工事

**問**  
予算減の理由は。

**答**  
例年2日目の18時  
半ごろから歌謡ショー  
を行っていますが、来場者  
の方の意見などから15時台  
への変更を予定しており、  
これにより照明機器等の経  
費が圧縮されることによる  
ものです。

**答**  
新たな対象者は決  
まりているのか。

**問**  
教育現場に導入す  
ることなどが活用  
法は。

### 人体型ロボット導入

梅村議員：修正案提案説明

#### 【修正案】

議会費 7,887万7千円（25万3千円減）  
道路橋りょう費 5億9,295万3千円（200万円増）  
予備費 325万3千円（174万7千円減）

歳出予算の一部については、経済的、また、  
安全で効果的とは認められず、修正を要する。

#### 原案に対する反対討論

梅村議員

財政難の状況下、議員が率先し議会経費削減  
に努めることは当然である。町道補修予算は、  
令和元年度には70箇所以上の未補修箇所が残り、  
適切な予算措置ではない。

#### 原案に対する賛成討論

藤田議員・大住議員・柏崎議員

医療費助成の拡大や、高校への支援等、安心  
して子どもを育てられる環境への事業が行われ  
ると判断した。町民の生活の一助となるよう、  
一日も早い執行を望むものであり原案に賛成する。

修正案は、賛成者1人、反対者9人で否決  
されました。  
原案は、賛成者9人、反対者1人で可決さ  
れました。

**答**  
予算作成時は従来  
人の方が研修に入る  
予定です。2組とも継承と  
いう形で就農を予定してい  
ます。

**問**  
マスクや消毒用ア  
ルコールを備蓄品と  
して購入する予定は。

### 防災備蓄品



備蓄品に必要な消毒用アルコール

## 障がい児童支援

支援が必要な児童を支援サービスに結びつける取り組みは。

問

答

アプローチは行っていますが、家庭の事情等で難しい部分もあります。保護者や、ご本人の様子を見ながら今後も続けていきたいと思います。



発達支援センター プレイルーム

補助金交付によりどのような効果が見込まれると考えているのか。

## 本別高校を考える会

答

耳から英語を聞く環境作りとして、最終的には、こども園や保育所等、子どもたちの生活に入り、一緒に過ごすということを目的としています。

答

期間は3年間程度で、指導のない時間帯は子ども未就課に席を置き、業務を行います。

今後も、第5次行政改革

答

様々な形で支援を行っていますが、進学先の多様化により地元進学率向上につながっているのは事実です。現在運行している陸別線について3

年を中途に廃止の方向で検討し、音更線についても今後検討を進め、費用対効果を含めた検証しながら存続に向け、地元中学生へPRの努力をしていきます。

## 姉妹都市交流事業

今年度は本別高校生を派遣するとのことだが内容は。

問

答

オーストラリアミツチエルから講師が派遣されるとのことだが詳細は。

## 外国語講師派遣

答

耳から英語を聞く環境作りとして、最も

答

各項目の補助金を合計すると4億円を超える金額となるが、補助事業を減らしていく考えは。

## 各種補助金交付

答

行政改革推進本部で審査を行い、今年度は2補助事業の廃止、補助事業の見直しなど、合計42補助事業の改善判断をしました。

推進大綱計画に沿って継続した見直しを行います。

## 病院事業会計

年度途中で医師の数が減少した場合の対応は。その際の収益への影響は。

問

答

医療費は道からの割り当てとなります。が、北海道の状況としては、加入者数の減少に伴い医療費全体の総額は減っています。

## 病院事業会計予算

### 原案に対する反対討論

#### 梅村議員

昨年、3億円の繰り入れ補正を行ったが、もはや待ったなしとの見解は昨年と変わっておらず、この町に病院を残し、関係者の雇用と地域医療を守るためにには、まだ余力があるうちに抜本的改革が必要であり、広尾町のように公設民営化するしかない。

### 原案に対する賛成討論

#### 大住議員・柏崎議員

昨年の議論が本予算に反映されている部分も見受けられる。本予算を執行しなければ、町民の命を守る病院が行き詰まってしまう。病院特別委員会で、抜本的改革に向かっていくという姿勢の中で本予算は賛成。

賛成者9人、反対者1人で可決されました。

答

外部の病院から外来の応援に来ていただくなど対応します。そうなければ対応が難しい場面が出てきて収益に影響ができる可能性が無いとは言えません。

# 一般質問

2人の議員から2問



入学式もコロナ対策（中央小学校）

**阿保議員** コロナ対策で飲食業はじめ町内経済活動に影響が出ています。

①町内各商工業、商店、事業所等の実態調査等を行う必要があると考えますが。

②商工業事業者への特別支援対策、あるいは町の中小企業融資など通常の支援対策の枠の拡充を図る等の必



阿保静夫議員

要があると考えますが。  
③今後、休校、休業措置などについて独自対応の検討する考えは。

**高橋町長** 2月27日に町対策本部を設置しました。

①実態調査は町商工会が緊急調査を実施、道商工会連合会による調査も予定され、町も今後、必要な調査を実施していく。

②町の中小企業融資を現在の5倍枠から6倍に拡大した運用について、金融機関と事務レベルで協議しています。

③3月9日から週1回の分散登校を開始しました。適宜、議会に状況報告しながら対策を進めたいと考えます。

## 暮らし

**新型コロナウイルス、今後の経済対策を町の中小企業融資枠拡大などの協議をしています**

答



## 暮らし

**本気で取組んでますか愛のかけ橋ライト点灯**

答

**町民の期待度、優先度、費用対効果を勘案し慎重です**



梅村智秀議員

信頼を回復しますなど言葉だけが踊り、何も変わっていない。町民の負託に応えるとの、改めての認識を。

**高橋町長** ①放送機具だけで700万円くらいかかります。

②総合計画アンケート結果から、町民の愛のかけ橋に対する期待度、優先度は1%以下で、費用対効果を勘案し相当慎重にとの結論です。

③誰がどうしたかということも分からぬ現状の中ですが反省し、指導も含めて徹底します。



誰からかは不明だが点灯中止の電話を受けたと言う車両センター



# 意見書・決議

第1回定例会では意見書と決議がそれぞれ1件提出され、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、衆参議院議長、内閣総理大臣など関係機関へ送付しました。

## アイヌの人々の誇り が尊重される社会を 実現し民族共生の未 来を切り開く決議

アイヌ文化の振興・  
発展の拠点として、  
ウポポイ（民族共生  
象徴空間）が白老町  
に誕生する。

開設を機に、アイヌの人々の誇りが尊重される社会の実現が図られ、北海道が魅力ある大地であり続けるため、道民が協力して民族共生の未来を切り開いていかなければならぬ。以上決議する。



提出者 方川 一郎

詞語

「意見書」に反対者：梅村議員 本町の病院でも機能分化などが考えられており、この意見書を議会として可決すれば、今後、再編を認めないことになる。経営が厳しい中、再編をして地域にどうやって病院が残れるようにするか、地域で十分に検討していく必要性がある。

#### 「意見書」に賛成者：

**石山議員** 厚労省みずからが認める混乱を招くならば、速やかに撤回すべき。また、医師偏在を助長するものである。

**柏崎議員** 地域や病院の実情や現状を一切考慮せず、責任を持たずに名前をあげた。国が責任を負わない以上、撤回を求める。

**水谷議員** これまでの地域医療関係者の努力を見ているのか。ただ、不安をあおるものだ。

・採決の結果 賛成10人 反対1人 **可決**

## 写真で見る議員活動

1/24 ~ 2/1



雪あかり アイスキャンドル作りボランティア

報酬とは職務の対価として支給されるもので、その性格からといって給料、生活給ではなく、議員報酬についても例外ではありません。本別町を含め、多くの地方議員の報酬が月額制となつてはいるのは、改正前の地方自治法で議員には特例が設けられており、それに基づいて条例制定がなされ、その後条例の改正がされていないからです。議員報酬の他に、ボーナスとしての期末手当、会議や公務での旅行に旅費として支払われる費用弁償の支給についても各地方公共団体の任意ですが、本別町では支給ができるよう条例で定められております。なお、議員の調査研究などの必要経費である政務活動費については本別町では交付されておりません。

## 議会用語の解説

《議員報酬・費用  
弁償・期末手当》

本別町議会議員報酬(月額) 議長292,000円、副議長230,000円、當任委員長204,000円、議員185,000円

# 行政報告

## 養護老人ホームを閉所します



閉所された養護老人ホーム

本別町養護老人ホームは、施設建築後46年が経過し老朽化が激しいことや、時代とともに求められるサービスの変貌、さらには介護保険法が改正された平成18年以降入所申込者が減少し、入所者が年間数人、または、なしという年もあり、平成30年3月に策定した第7期銀河福祉タウン計画において、高齢者向け住宅の整備に併せて終期の検討をしてきたところであります。

## 特別養護老人ホームの整備について

平成27年6月に策定しました「本別町特別養護老人ホーム・養護老人ホームの在り方に関する基本構想」に基づき、1カ所目を北6丁目「清流の里」に併設して社会福祉協議会の運営による定員20人の地域密着型特別養護老人ホームを整備する方向で、令和2年度の工事着手、令和3年度の開設に向けた協議を進めてまいりました。

これまで入所しておりました入所者やご家族にその旨を説明しながら理解をいたさ、現施設に近いサービスを受けることができる施設への移行支援を行い、昨年12月に高齢者住宅への住み替えがすべて終了したことから、令和元年度末をもつて閉所することとしました。

本年4月以降の職員配置については、持っている資格を充分に生かすことができる職場への配置転換を見据え、取り組みを進めます。



リハビリに励む入所者

しかし、この間の特養入所基準の見直しや医療との連携が評価対象になるなど、介護保険制度を含めた社会環境・情勢は大きく変化し、現在の計画のままでは、安定的かつ効率的な運営が大変厳しい状況となりました。

検証していくことといったしました。

## 児童館の再編、開館時間を変更します

本町には栄町児童館、東児童館及び北地区交流センターにおいて、それぞれ児童館活動が行われており、子どもたちに、健全な遊びと学びを提供してきているところですが、近年、子どもの数が大幅に減少するとともに、子どもたちを取り巻く環境も大きく変化しています。

学校基本調査によると、平成20年5月の本別中央小学校の児童数が328人であるのに対し、平成30年5月の児童数は192人となり、41%、136人の減少となっています。

このことから、清流の里に併設する地域密着型特別養護老人ホームの整備につきましては、一旦立ち止まり、社会環境・情勢や介護保険制度の変化、また、町内の施設間における機能分化や連携等あらゆる動向を踏まながら、在り方を再



児童館活動を終了した北地区交流センター

の利用者数にも大きく影響し、児童館の利活用・再編について一昨年から、子ども・子育て会議を中心に、今後の在り方について協議を行い、北地区交流センターにおける児童館活動は、令和2年3月31日をもつて終りました。

また、現在の児童館の開館時間は、平日が午後1時から午後5時、毎週土曜日が午前10時から午後5時、小学生の長期休業期間が午前10時から午後5時となつておりますが、土曜日午前中の開館につきましては、令和2年度から、小学校の春休みのみといたします。



までは自分で動くわよ

# 商工会青年部長 佐藤 隆史さん

**議会や町への要望**

青年部としての課題は「田の轍くじかにじだし瞬くわく」「困つていねむり、わが田舎で動くのも」 と書いた。あわてて「あた、「青年部は何をやつてやがるか」の感持から進んで田舎へ、田舎の聲の如きを聞くのやつてこの聲を唄ひまつて」 と熱く語った。

今回も、本別町商工会青年部長として活躍されている、松月堂4代目店長の佐藤隆史さんにお話を伺いました。

コロナに緊急企画

世界的大流行を引き起  
こして いる新型コロナウ  
イルスに 対する 感染拡大  
防止対策が 実施されてい  
る中、商工会青年部長と  
して「何とかしたい」と  
の思いから 緊急企画「情  
熱のスタンプラリー」に  
取り組ん で きました。  
「わざわざ ありがたい」  
との声も 仲間から寄せら  
れました。

れ、このような取り組みは、「東日本大震災やブラックアウトの経験を通して醸成されたように思う」とのこと。  
ご自身は、「勢いと行動力」が売りです。そして先輩方の思いも感じています」と笑顔で話されました。

自ら動くよ

商工会青年部は現在28人で活動していますが、青年部としての課題は

りが実を結んだものです。  
全国的にも例を見ない  
取り組みとして、商工会  
青年部は全道表彰を受け  
ました。

時の流れ実感

佐藤さんは自身は本別生まれの本別育ち、本別高校卒業後は札幌で修業し、21歳の時、家業を継ぎました。

# 議会日誌